



一般社団法人沖縄県労働基準協会

会長 島袋 清人

春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

会員事業場の皆様には、当協会の業務運営につきまして、日頃から格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、当協会の講習会等を受講いただいた皆様にも心よりお礼申し上げます。引き続き、長年の実績と信頼の下、理解し易い講習に努めてまいります。

県内の社会経済活動は、入域観光客数が前年を上回り、個人消費に一部弱さが見られるものの雇用情勢の持ち直しの動きが続いていることから、拡大基調が続きました。先行きについては物価の高騰、人手不足感などがありますが、働き方改革を進め、生産性の向上、成長と分配の好循環を構築していく必要があります。

さて、県内の労働者の安全と健康を取り巻く状況をみますと、労働災害は近年増加傾向にあります。また、定期健康診断実施結果における有所見率は僅かに改善し12年連続全国最下位を抜け出したもののワースト2位であり、全国平均値との差は依然として大きいのが現状です。

このような状況を改善するためには、「沖縄労働局第14次労働災害防止計画」に基づき、各事業場が労使一体となって、自発的に安全衛生対策の重点事項に取り組み、同計画の目標である労働災害の増加傾向に歯止めをかけて減少に転じさせるとともに、働き盛りの世代の健康づくりを推進する必要があります。

また、化学物質による労働災害を防止するため、労働安全衛生法に基づく新たな化学物質規制が導

入され、昨年4月からは「化学物質管理者」の選任等も必要となっており、また、化学物質管理活動の定着を図るため、本年より毎年2月に「化学物質管理強調月間」が実施されます。

人手不足、少子高齢化、物価高騰など経営環境は厳しいものがありますが、いかなる状況下でも働く人の命と健康の確保は何よりも大切なものであります。安全衛生対策に取り組むこと、健康経営を行うことは人材の確保・定着、生産性の向上、成長と分配の好循環の構築にもつながります。各事業場におかれましては、社会情勢の変化等に対応し、安全で健康に安心して働ける職場と、労働災害の増加傾向に歯止めをかけて減少に転じさせるため、労使一体となって、安全衛生活動を一層促進されますようお願い致します。

当協会は、県内事業場が安全で健康に安心して働ける職場環境の実現と、労働災害の増加傾向に歯止めをかけて減少に転じさせるため、会員事業場のニーズに沿った技能講習等の各種講習会を的確に開催するとともに情報の提供等を行ってまいります。また、沖縄労働局及び各労働基準監督署等との連携を密にして安全衛生大会等を開催するとともに沖縄県内の安全衛生及び労務管理水準の向上に努めて参りますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員事業場の皆様が、希望に満ちた一年になることを祈念申し上げて、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

一般社団法人 沖縄県労働基準協会

会長 島袋 清人

副会長 仲西 聡

副会長 金城 稔

副会長 樽岡 誠

副会長 渡真利 勝

副会長 宮良 博

副会長 新垣 勇

副会長 川満 秀

副会長 伊集 朝

副会長 上地 千登勢

理事 (那覇支部) 手登根 明

理事 (那覇支部) 柴引 健

理事 (那覇支部) 宜本 徹

理事 (中部支部) 新里 勝

理事 (中部支部) 宮城 昭

理事 (中部支部) 砂川 恵

理事 (北部支部) 与那城 敏

理事 (北部支部) 米盛 博

理事 (八重山支部) 新川 正

理事 (八重山支部) 佐和田 正

専務理事 (八重山支部) 多嘉良 尚

監事 平良 昭

監事 古波津 昇

顧問 古波津 昇